

「NICUからの円滑な退院に向けた取組への支援」今後の方策

1. 周産期母子医療センターにおける体制整備

項目	現 状	施策の方向性(事務局案)
1 産科・新生児科・小児科との連携体制の構築	<p>円滑な退院に向けた支援を行うためには、新生児科を中心として産科や小児科をはじめとする、関係診療科との協力体制を確保し連携することが必要である。</p> <p>現在、このような取り組みが実施できている施設は一部であり、連携体制が構築されていない。</p>	<p>NICUを有する全ての周産期母子医療センターに入院児支援コーディネーターを配置し、その役割のなかで、産科・新生児科・小児科との連携を求めていくこととする。</p> <p>【入院児支援コーディネータの主な役割】 資源の把握(情報収集) コーディネート作業(カンファレンスの開催、児童相談所との連携、療育施設との連携、地域への協力依頼) 家族へのサポート(ケア指導(退院前後)、在宅サービスの紹介・支援、状況に対する共通認識)</p>
2 地域療育支援病床の設置	<p>NICUにおける看護体制(3対1)と比較し、院内の小児科病棟または療育施設の看護体制(7～10対1程度)では相当の落差があり、NICUと同等の手厚い看護は困難である。このため、気管切開など重症な呼吸管理を必要とする乳幼児を受け入れた場合、予後が不良となるケースや受け入れそのものを断らざるを得ない場合がある。また、特にNICU・GCUから直接在宅へ移行する場合は予後が悪く短期間で亡くなるケースもある。</p> <p>これにより、NICU等入院児が在宅等へ移行後、療育施設や一般小児科病棟では憎悪したときの受け入れが困難である。</p> <p>NICUやGCUから一旦退院すると感染症等の観点から再びNICUやGCUに戻ってくるのが不可能であることから、退院に向けた在宅での宿泊訓練が必要であるが、療育施設や一般小児科病棟の看護体制等の事情により、訓練を行なえる病床がない。</p>	<p>NICUを有する周産期母子医療センターの小児科部門等に、地域療育支援病床を併設し、在宅療養等への円滑な移行の促進を図る。 (ただし、この場合、NICUあるいはGCUに近い看護体制を措置する必要がある。(例6:1以上))</p> <p>診療報酬の評価がないなど、病院の経営上不採算部門となるといった課題がある。 (診療報酬による評価など国へ要望する必要がある)</p>
3 新生児と家族の愛着形成を支援するための設備の設置促進	<p>国の「周産期医療体制整備指針」において、総合周産期母子医療センターにおいて、「新生児と家族の愛着形成を支援するため、長期間入院する新生児を家族が安心して見守れるよう、NICU、GCU等への入室面会及び母乳保育を行なうための設備、家族宿泊設備等を備えることが望ましい」とされている。</p>	<p>総合周産期母子医療センターにおいて、これらの設備の設置を促進するための支援について検討を行う。</p>

2. 在宅ケア支援体制の構築

項目	現 状	施策の方向性(事務局案)
4 在宅支援体制の構築・ネットワーク化	<p>各周産期母子医療センターにおいては、NICU等からの退院に向けて、退院先地域の関係機関と個別に調整を進めているが、地域によって保健師の対応や在宅支援サービスの提供が違ふことや、保健・医療・福祉の連携が十分に図られていない場合がある。</p>	<p>NICUを有する全ての周産期母子医療センターに入院児支援コーディネーターを配置し、今回のモデル事業の取組を踏まえ、コーディネーターを中心とした地域との連携体制を構築する。</p> <p>退院先の地域が、各周産期母子医療センターで情報を把握していない地域である場合は、該当する周産期母子医療センターのコーディネーターから情報を得る等、周産期母子医療センター間での情報交換や連携を図り、円滑な退院に向けた調整を図る。</p> <p>東京都が実施する「周産期医療施設師長連絡会」や今後設置を検討する「入院児支援コーディネーター連絡会」(仮称)を活用し、各周産期センター間における退院支援の取組について情報交換やネットワーク化を図る。</p>
5 地域の保健師による入院中からの支援体制の確保	<p>各区市町村の保健所等において、未熟児訪問事業として“2,000g未満”または“2,000g以上でもケアが必要”な低出生体重児については退院後に保健師による訪問指導を行なう制度があるが、長期入院となりそうなハイリスクなNICU等入院児に対して、NICU等入院中に保健師が訪問できる体制となっていない。</p> <p>長期入院となりそうなハイリスクなNICU等入院児については、入院中からの保健師へのより早い段階の情報把握と訪問が必要である。</p>	<p>以下の取組方法について検討を行なう。 ・病院からの「未熟児出生連絡票」に基づく保健師への情報提供と訪問依頼 ・長期入院となりそうなハイリスクなNICU等入院児に対する保健師の訪問等</p>

「NICUからの円滑な退院に向けた取組への支援」今後の方策

	項目	現状	施策の方向性(事務局案)
6	地域の診療所小児科医による支援体制の確保	<p>診療所小児科医が往診を行なっているケースは少なく、退院後に気軽に地域の小児科医師に相談できる体制が確保されていない。</p> <p>また、NICU出身の医師を除くほとんどが、特殊な診断名を持つ重症児を診ることが現実的に不可能である。さらに予防接種や健診など日々の診療で手一杯の状況であり、地域の小児科医師は疲弊している状況であるため、往診を含めNICU退院児を地域で支援できる余裕がない。</p>	<p>根本的な解決としては、診療所小児科医を増やす方向での検討が必要があるが、今回のモデル事業を通じて、地域の診療所小児科医師へ個別にモデルケースへの対応を交渉し、協力を求めていく。</p>
7	緊急一時入院や短期入所・レスパイトの病床確保	<p>自宅で子供をみていくためには、緊急一時入院や短期入所・レスパイトなどの社会資源が必要である。</p> <p>三次救急を担う周産期母子医療センターにとって、レスパイトを導入し難い現状がある。</p> <p>NICU等からの長期入院児や同等の病状を有する気管切開などの重症な呼吸管理を必要とする小児については、相当の手厚い看護体制が必要であり、退院後、実際利用したいときに受け入れ可能な施設の確保が困難である。これらの重症な呼吸管理を必要とする小児で重症心身障害者(児)に該当しない場合は、特に受け入れ可能な施設の確保が困難な現状がある。</p> <p>レスパイトを受け入れる医療機関が児の状態について把握しており、かつ家族がレスパイト先の施設への信頼がないと利用に結びつかない場合がある。</p>	<p>モデルケースへの対応を通じて病床確保及び看護師等確保にあたって必要な支援を検討するとともに、緊急一時入院や短期入所及びレスパイトについては、病床の確保が可能な医療機関等に対し事業の促進を図る。</p>
8	NICU等長期入院児に対応する訪問看護ステーションの不足	<p>在宅生活において医療的な側面から家族を支えるためには、訪問看護ステーションによるサポートが重要であるが、NICU等長期入院児で気管切開などの重症な呼吸管理等を必要とする乳幼児(特に3歳未満)へのサービスが可能な訪問看護ステーションが限られている現状がある。</p>	<p>看護技術の指導を目的とする研修会等を通じて、これらのNICU等長期入院児に対応する訪問看護ステーションを増やす取組を行なう。 (訪問看護に対する診療報酬による評価など国へ要望する必要がある) (在宅重症心身障害児(者)訪問事業については「参考資料2」を参照)</p>

3. その他

	項目	現状	施策の方向性(事務局案)
9	重症心身障害者(児)施設等への移行について	<p>周産期センターのNICU等に長期入院している児のうち、重症心身障害者(児)でかつ家族の養育力が無い場合(養育者不在)は、在宅への移行が事実上不可能となり、入所施設での対応が必要であるが、現状は各施設とも満床であり、入所待機の状況が続いている。</p>	<p>入院児支援コーディネーターがNICU入院後早期に保健所等に情報提供することをはじめとした、該当する児の関係機関への情報提供するなど連携体制を構築する。</p>
10	社会的ハイレスクのある児への対応	<p>低出生体重児をはじめとするNICUを必要とする児が増えていることにより、NICUの需要が増加しており、行政(保健所等、福祉機関)が連携を強化し、NICU等への入院する児を出産する可能性をもつ妊婦への妊娠早期からの介入・支援を行うことが必要である。さらに精神疾患を含めさまざまな障害があり、かつ社会的サポートが必要な母親を持つ、いわゆる社会的ハイレスクな児については、病状が安定してもNICU等から在宅への移行が困難となり、入院が長期化する傾向がある。このこともNICU等が満床となる一因となっている。</p> <p>親に虐待の危険性があることを医療機関が認識し、かつ適切な行政機関(保健所等、子供家庭支援センター、児童相談所)に情報提供をしたにもかかわらず、その後の地域における支援体制が十分に機能しない場合がある。</p>	<p>既存の「要保護児童対策地域協議会」を活用するなど、入院中からの地域の行政機関等との連携体制を強化する。 (「要保護児童対策地域協議会」については「参考資料3」を参照)</p> <p>社会的ハイレスクな児のモデルケースへの検証をとおして、児童・福祉部門等他分野にわたる支援の方策について検討を行なう。</p>